

## ① 住民参加のまちづくりについて

少子高齢化が進む中で、本町に於いても高齢化率が徐々にアップし、高齢化による様々な課題が出てきています。さらに、新たな団地の造成や、大型商業施設の開店、長与中央橋の開通に伴う交通事情の変化など、町を取り巻く環境は大きく変化しており、併せて、住民のニーズは一層多様化してきているのが現状です。

このような中で、町の課題を解決し皆さんの要望に応える行政施策、効果的な政策をスピーディーに実現していくためには、多種多様な意見を調整し、多くの町民が参画してのまちづくりが強く望まれるところであります。

長与町第9次総合計画の中で、計画の推進方策が示されており『町民参加による協働のまちづくり』について「本計画は、まちづくりの主役である町民の皆さんとともに進めていくことが基本です。そのため、きめ細かな情報発信をはじめ、多様な参画の機会を設けるなど、協働のまちづくりを展開します」とされています。この計画を始め長与町には30以上の町の計画があり、さらに、40以上の審議会・委員会が、住民の声を行政に届ける仕組みとなっています。

しかしながら、計画を策定する上で、住民の意見が十分反映されているのでしょうか、委員会での内容は政策にどのように反映されているのでしょうか、また、計画された政策にどのような形で住民の声が加味されているのか不透明であります。

そこで、住民参加の視点から以下の質問を致します。

- (1) まちづくり提案箱について伺います。
- (2) ほっとミーティングについて伺います。
- (3) パブリックコメントについて伺います。
- (4) まちづくり基本条例についての長与町の考えを伺います。
- (5) 住民参加、住民からのご意見により予算に反映している事案があるかどうか伺います。
- (6) 各種委員会・審議会の意見は政策どのように反映されているのか伺います。

## ② 町職員の生産性向上について

4万3千人の人口を抱える長与町は、職員増員の予定ではありますが、人口に対して非常に少ない職員数で町としての運営を行っていることは高く評価するところであります。

しかしながら、一方では、国や県の政策に即応した施策の推進や、厳しい予算の中での計画実践、声高に叫ばれる防災施策の展開、より質の高いサービスの提供、などが強く求められています。その中で多くの実務を効率よく効果的に進めて、職務の生産性向上に努めて行かなければなりません。

役場は人に頼る業務でもあると認識していますが、限られた人員の中で、人材活用は行政の喫緊の課題でもあります。人材の育成、適材適所の活用に向けて一層の人材ブラッシュアップが期待される場所ですが、町として職員の皆さんの生産性向上に向けてどのように対応されているか、以下の点についてお伺いします。

- (1) 職務ローテーションの基本的な考え方について伺います。
- (2) 専門人材の活用について伺います。
- (3) パート・派遣職員の職務能力向上はどのように行われているか伺います。
- (4) 超過勤務による職員の意識減退などは発生していませんか。
- (5) 「変わらば計画」による職員の意識変化はどう捉えていますか。